

3月定例議会

行政報告 (1)

平成30年3月定例議会は、2月13日に開会し、27日までの会期中で開かれました。議会初日には、施政方針と行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また、15日と16日には一般質問が行われました。19日からは、各常任委員会へ付託された議案を審査し27日の最終日に採決が行われました。

3月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

総務部関係

■総務課
平成29年度職員採用試験（2次募集）は、1月6日に消防吏員、1月7日に一般行政の各採用試験を実施しました。消防吏員に22人、一般行政に14人が受験し、消防吏員2人、一般行政3人を合格者として告示しました。

北秋田市空家等対策協議会を1月18日に開催し、空家等対策に係る条例等の改正や空家等解体撤去費補助金の交付など、今後の空家対策について協議しました。

平昌オリンピックのバイアスロン競技に出場が決まった本市出身の立崎美由子さんを応援するため、市役所本庁舎前に応援看板を設置しています。



▲本市出身の立崎美由子選手の平昌五輪出場を祝い応援看板を設置

■総合政策課

地方創生拠点整備交付金を活用し整備していた「移住定住ネットワークセンター」の改修工事が、12月13日に完了し、バリアフリー型1戸、シェアハウス型1戸が整備され、昨年度改修した家族向け1戸とともに、移住体験用の住宅として供用する体制が整いました。2月1日には同セ



▲移住者のニーズに応じた移住体験事業を提供する移住定住ネットワークセンター

ンターを会場に、「(仮称)北秋田市移住定住サポーターの会設立準備ミーティング」が開催され、きたあきた移住支援サポーター出席のもと移住や定住に向けた体制整備に向け意見が交わされるなど、今後は同センターにおいてニーズや段階に応じて短期・中期・長期の滞在が可能な移住体験事業を提供するほか、移住相談及び情報発信を行い、サポーターや地域の方々との交流も行う予定です。

財務部関係

■財政課

平成29年11月1日から12月31日までの工事等発注状況（500万円以上）は8件、契約額は1億6081万3千円です。

産業部が移転する旧中央公民館は、耐震補強が完了し改修工事を進めています。1月末現在の工事進捗率は80パーセントとなっており、3月中旬の完成を予定しています。

市民生活部関係

■生活課

クリーンリサイクルセンターエネルギー回収推進施設建設工事の進捗率は、12月末で98・6パーセントです。また、1月4日からごみの受入れを開始し、4月の本稼働に向けて順調に推移しています。

新しいし尿処理施設の建設は、1月23日に開催された北秋田市都市計画審議会で、北秋田市計画汚物処理場の変更として、都市計画汚物処理場に2号北秋田市し尿処理施設の追加を諮問し、原案通り決定の答申を受けています。



▲津谷市長が服装や規律を確認した交通指導隊と防犯指導隊の査閲式

北秋田地区交通指導隊連合会と防犯指導隊連合会の安全祈願式及び査閲式が、1月6日に森吉公民館で開催されました。各種活動の安全を祈願し、査閲式では服装及び規律の確

認を行うとともに、関係機関と連携して交通事故防止と犯罪の根絶に取り組むことを確認しました。

消費生活に係る安全3法に基づく立入検査を1月12日に実施し、市内の4店舗で暖房器具など14品目を検査したところ、全て適正に販売されていることを確認しました。

■市民課

個人番号カードは、12月末の交付申請枚数が2953枚、交付枚数は2406枚です。また、受け渡しできずに市が保管している通知カードは110件です。

国民健康保険は、12月末の加入世帯数が4988世帯、被保険者数は7493人で、そのうち前期高齢者は4129人です。

後期高齢者医療制度は、12月末の被保険者数が7882人で、そのうち若年障害者認定数は197人です。

健康福祉部関係

■福祉課

平成30年度の保育所等の申込み状況は、1月末で759人です。臨時福祉給付金は、8232人にに対し、1億2348万円を支給しています。

北秋田市地域福祉計画・地域福祉活動計画及び第3次障がい者計画・第5期障がい者福祉計画・第1期障

がい児福祉計画は、年度内の策定に向けて取りまとめを進めています。

■高齢福祉課

福祉の雪事業は、1月末の登録世帯が847世帯で、昨年度より75世帯減少しています。

北秋田市高齢者福祉計画・第7期介護保険事業計画は、年度内の策定に向けて取りまとめを進めています。

■医療健康課

健康増進事業は、12月12日と1月16日に生活習慣病予防として「すこやか健康講座」を実施し、延べ163人の参加がありました。

母子健康事業の子育てサークル「にじいろリボン」には、延べ137人が参加しています。また、乳幼児育成指導「スキップクラブ」には延べ70人の参加があり、年々対象者が増加しています。

食育推進事業は、12月から4地区15会場を地区巡回健康相談・心の交流サロンにあわせて、食生活改善推進員が主体となり「減塩と野菜で目指せ健康寿命」をテーマに普及・啓発を実施しています。

心の健康づくり事業は、75歳以上の355人、10自治会を対象に「ホッとあい訪問」を実施しています。

インフルエンザの予防接種は、12月末で、高齢者が6581人、子どもと妊婦が2991人で、高齢者の

しよう！大館能代空港圏域の翼ツアー」が1月19日、20日に32人が参加して行われ、両国技館では初場所6日目の豪風関の取組を応援したほか、豪風関を招いた夕食会では、ツアーに参加した市民との交流を図りました。

■内陸線再生支援室

沿線の地場産品の販売及び沿線地域の魅力の紹介と観光PR等を行うため「秋田内陸線市場」をJR秋田駅ぽぼろーどを会場に開催しました。また「ごっつお玉手箱列車」や「イングリッシュトレイン」、「新春雪見列車」等の企画列車造成とPRの支援を実施し、増客に努めています。

新たな観光資源としての可能性を調査するため、阿仁スキー場最寄りのペンション向かいに「マタギ小屋」を設置し、2月から運用しています。

肺炎球菌予防接種は、412人が接種を受けています。

北秋田市医療連携センター運営協議会は、12月16日に第2回訪問看護ワークショップ、1月27日には第2回認知症ワークショップ、2月3日には医療介護研修会を開催し、地域包括ケアについて理解を深めるとともに、医療・介護の連携とスキルアップのための研修を実施しました。また、事業者向け「医療・介護資源ガイドブック」の内容を更新し医療介護事業者への配布を予定しているほか、市民向け「医療・介護のハンドブック」をもとに、スマートフォン・パソコン等で最新の医療介護の情報を得られるようポータルサイトの作成に取り組んでいます。

■診療所

11月から12月までの市立3診療所の外来患者数は次のとおりです。
阿仁診療所は、内科1367人で前年同期比207人減、外科1528人で同72人減、歯科503人で同45人の減です。合川診療所は1418人で前年同期比251人減です。
米内沢診療所は、内科2742人で前年同期比398人減、小児科510人で同71人減、整形外科563人で同11人減、脳血管外科142人で同17人減、心臓血管外科21人で同2人の減です。